

学校目標

思いを大切に 笑顔で挑戦する「あつきたっ子」の育成

札幌市学校教育の基盤

人間尊重の教育

どの子ども「自分が大切にされている」と
実感できる学校づくり

厚別北中学校区 目指す子ども像

主体的に考え、実践できる子ども

(TPOの理念)

時や場所を考え、今は何をすべきなのかを
自分で判断してできる子ども

「こころを充実」させる指導

社会性の伸長

□自治的な活動の推進

さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」(Positive, Love, Unipue, Smile)を合言葉に、自分たちの問題を自分たちで解決する力を育成する

□「本物の経験」を通じた成長

異学年交流や学校行事において、期待や葛藤、達成感を味わう「心が動く場面」を設定し、他者を尊重する態度を養う

□自己有用感の向上

異学年での関わりや役割を果たす体験を通し、「人の役に立っている」という実感をもたせる

よりよい人間関係の構築

□道徳教育の推進

教師が「教える」のではなく、実生活と関連付け、子どもが主体的に「考える道徳」を実践する

□心のAARサイクルの活用

見通し (Anticipation)



実践 (Action)



振り返り (Reflection)

のプロセスを大切にし、自らの変容を実感させる

□命を大切にする教育

自他のかけがえのない命を大切にする指導を徹底するとともに、家庭や地域とも連携し、早期発見・早期対応に努める

心理的安全性の確保

□相互承認の感度の醸成

「みんな違う」を原点に、自己肯定感・自己有用感を高め、互いの良さを認め合う関係を構築する

□きめ細かな把握

シャボテンログ(心の健康観察アプリ)やアンケートを活用し、子どもの些細なサインや困りを早期に把握、組織的に対応する

□適切な環境整備

安心して過ごせる学級空間と、適切な言語環境(伝わる言葉遣い)を整える

組織的な支援体制

チーム学校による対応

児童等の情報を学年・校内で即時共有し、組織的に対応

専門家・地域との連携

SC・SSW、関係機関、CS(コミュニティスクール)との連携を深め、切れ目のない支援